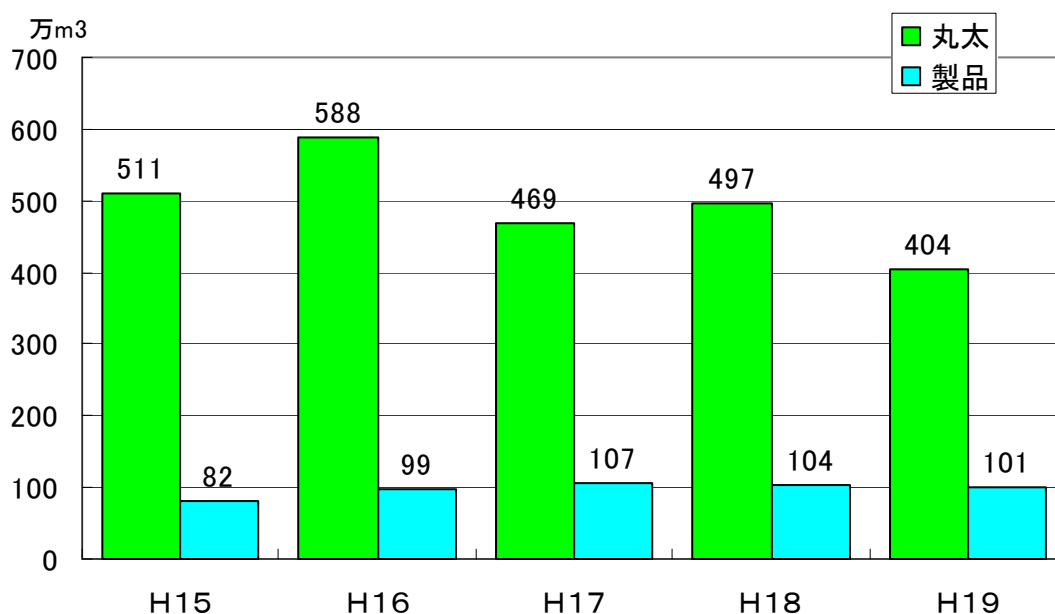


## 北洋材の輸入及び利用の状況

### 北洋材輸入の現状

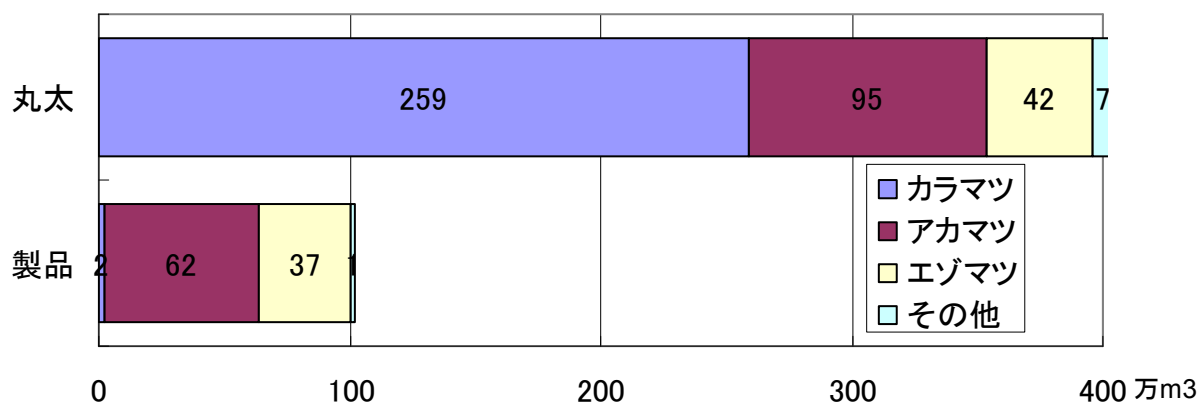
- 丸太輸入量は、約400万m<sup>3</sup>(H19実績)で、減少傾向  
6割がカラマツで合板用、4割がアカマツ、エゾマツで製材用
- 製品輸入量は、約100万m<sup>3</sup>(H19実績)で、横ばい  
6割がアカマツ、4割がエゾマツで羽柄材が主体

### 北洋材の輸入量の推移



資料:財務省「貿易統計」

### 樹種別内訳(H19実績)



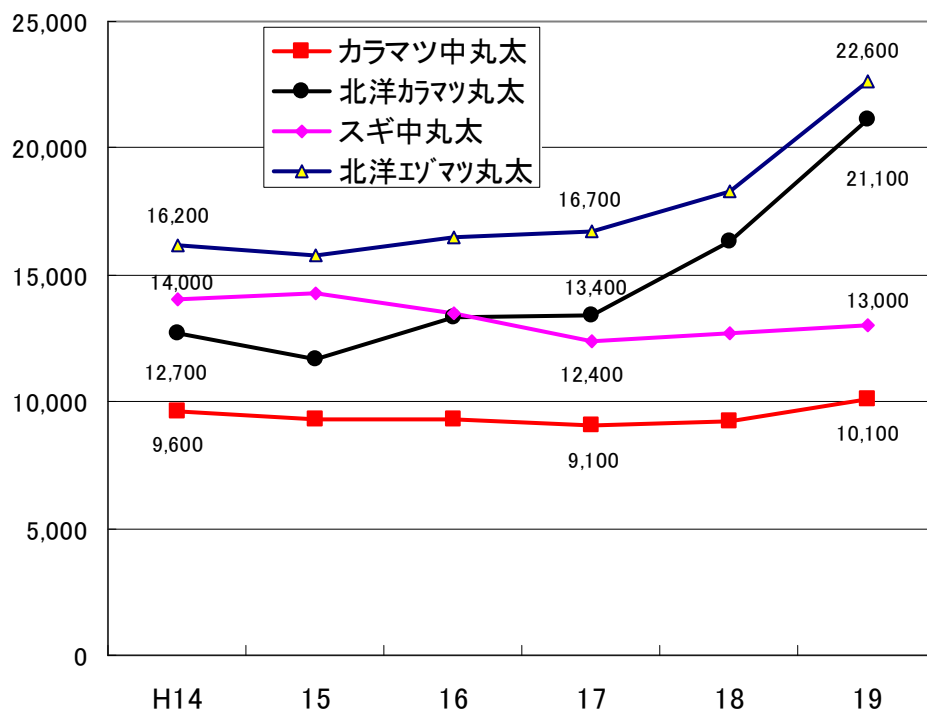
資料:財務省「貿易統計」

## 価格の推移

○北洋カラマツ、北洋エゾマツは、平成18年以降高騰

○国産カラマツ、スギは横ばいで推移

### ■価格の推移(工場着価格)



単位: 円/m<sup>3</sup>

	北洋カラマツ丸太	カラマツ中丸太	北洋エゾマツ丸太	スギ中丸太
H14	12,700 (100)	9,600 (100)	16,200 (100)	14,000 (100)
15	11,700 (92)	9,300 (97)	15,800 (98)	14,300 (102)
16	13,300 (105)	9,300 (97)	16,500 (102)	13,500 (96)
17	13,400 (106)	9,100 (95)	16,700 (103)	12,400 (89)
18	16,300 (128)	9,200 (96)	18,300 (113)	12,700 (91)
19	21,100 (166)	10,100 (105)	22,600 (140)	13,000 (93)

20.4	19,600 (154)	10,100 (105)	21,000 (130)	11,800 (84)
------	--------------	--------------	--------------	-------------

※ ( )はH14を100とした指数

資料: 農林水産省「木材価格」

## 北洋材製材の動向

- 主な生產品目は羽柄材
- 北洋材製材は北陸地方に集中
- 北陸地方は国産材の利用量が少ない

### ■主な生產品目

・アカマツ、エゾマツ製品流通の過半が羽柄材

野縁、胴縁、マンション間柱 30mm×40mm×4m が主体

・一部造作用もあるが、需要は少ない

敷居、鴨居 45mm×105mm×4m 回縁 40mm×45mm×4m

### ■北洋材を年間10万m<sup>3</sup>以上入荷している県

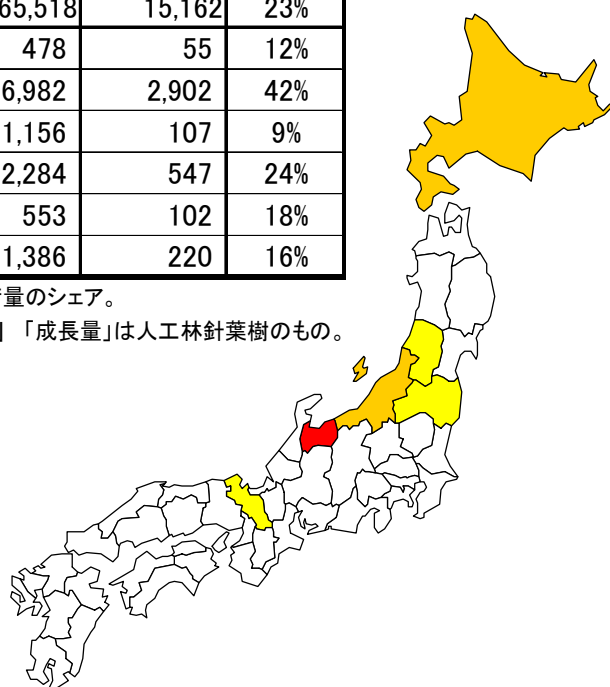
	北洋材利用			針葉樹の資源量・素材生産量		
	工場数	入荷量(千m <sup>3</sup> )	工場あたり 入荷量(m <sup>3</sup> )	成長量 a (千m <sup>3</sup> )	素材生産量 b (千m <sup>3</sup> )	b/a
全国	949	2,263 (100%)	2,400	65,518	15,162	23%
富山	88	804 (36%)	9,100	478	55	12%
北海道	89	241 (11%)	2,700	6,982	2,902	42%
新潟	105	201 (9%)	1,900	1,156	107	9%
福島	55	181 (8%)	3,300	2,284	547	24%
京都	22	147 (6%)	6,700	553	102	18%
山形	22	116 (5%)	5,300	1,386	220	16%

※資料：農林水産省「平成17年木材需給報告書」 ( )は入荷量のシェア。

：林野庁「森林資源現況調査(平成14年3月31日現在)」 「成長量」は人工林針葉樹のもの。

：農林水産省「平成19年木材統計」

凡例	
	50万m <sup>3</sup> 以上
	40-50
	30-40
	20-30
	10-20



## 北洋材製品輸入の動向

- 主な輸入品目は羽柄材
- ロシアとの合弁会社からの製品輸入や半製品輸入が主体
- 新たに現地加工施設の整備を検討する商社もある

### ■主な輸入品目

- 製品(アカマツ、エゾマツ)
  - ・野縁、胴縁、マンション間柱 30mm×40mm×4m KD、グリーン
- 半製品(アカマツ、エゾマツ)
  - ・再割用原板 40mm×150mm×4m KD、グリーン
  - 40mm×165mm×4m KD、グリーン



アカマツ半製品(再割用原板)

### 製材品及び半製品の輸入状況

単位:千m3

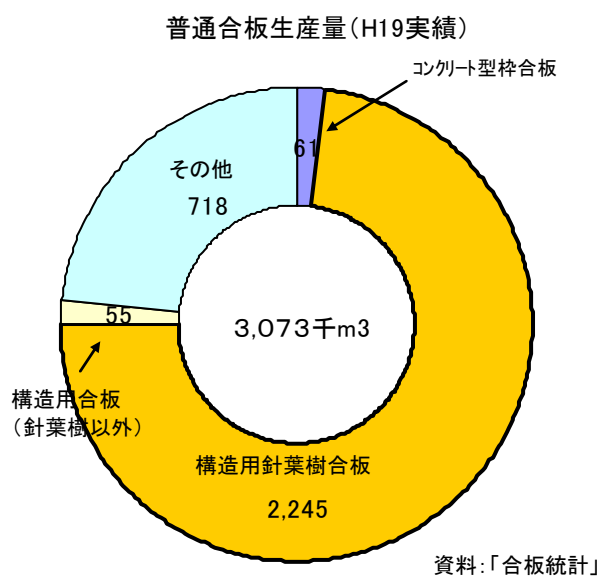
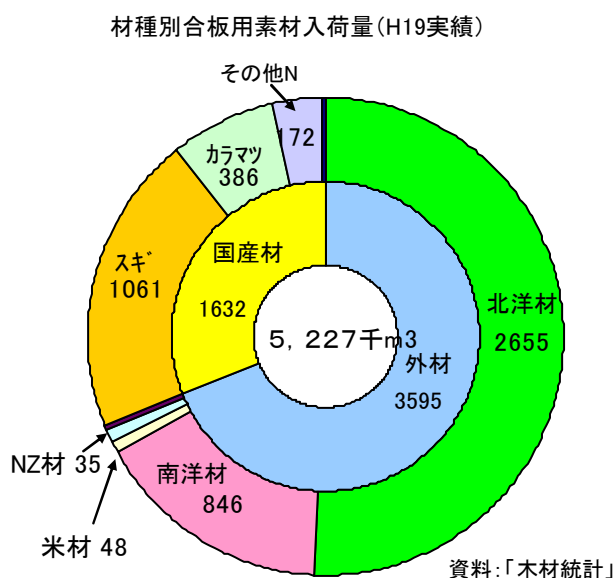
年	製材品	内半製品
H 15	827	434
H 16	1,002	460
H 17	1,078	325

資料:財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」

## 国内合板製造の動向

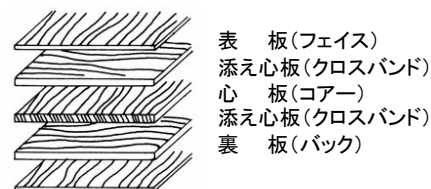
- 合板用素材の5割が北洋材(北洋カラマツ)
- 国産材を利用した合板生産が拡大  
(H19の国産材比率:3割 H20.3月は6割)
- 構造用針葉樹合板の生産が7割

### ■ 合板用素材の入荷及び普通合板の生産状況



### ■ 構造用合板における厚さ別の主な原木利用状況

- ・9-12mm 北洋カラマツが主体、国産カラマツも利用  
北洋カラマツを主体としたスギとの複合合板も生産  
(コアにスギを1枚使用)  
allヒキ合板の生産にも着手
- ・24mm以上 北洋カラマツ+スギ、国産カラマツ+スギが主体、  
スギの配合率(5割→7割)を高めている  
allスギの生産も増加 壁用はallスギ  
ヒキ+スギの複合合板の生産にも着手



## 国産カラマツ製材の動向

- 国産カラマツ利用の製材工場は北海道に集中
- 梱包材の生産が主体

### ■ カラマツの素材生産量(需要部門別)

都道府県名	計	製材用	合板用	木材チップ用
全国	1,910	1,377	210	323
北海道	1,509	1,065	183	261
岩手	204	152	21	31
長野	107	83	1	23

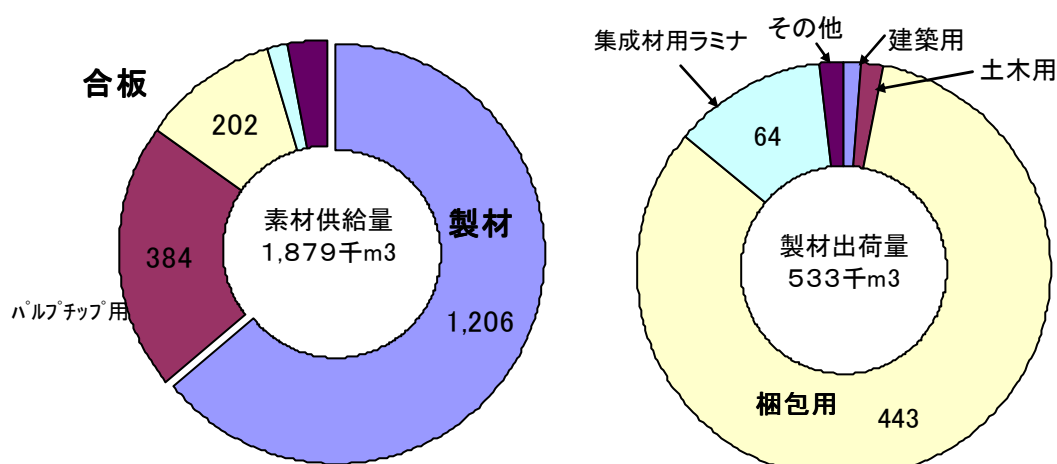
※資料:農林水産省「平成17年木材需給報告書」

### ■ 北海道のカラマツ製材

都道府県	企業数	原木消費量 (千m <sup>3</sup> )	企業あたり 原木消費量(m <sup>3</sup> )
全国	85	1,190	14,000
北海道	61	1,104	18,100

資料:林野庁業務資料

### ■ 北海道のカラマツ用途別利用状況(H18)



資料:北海道「平成18年度カラマツ素材・製材流通調査」

### ■ 北海道の人工林面積

単位:千ha

樹種	カラマツ	トドマツ	エゾマツ
面積	449	787	109

資料:森林資源の現況